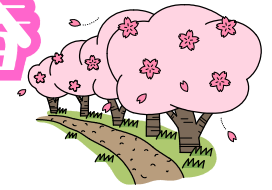




星川だより

春



熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

講座「平和学入門」に参加して

東 英明



加藤さんの講義に熱心に耳を傾ける参加者

星川だよりの前号に寄稿していただいた加藤一夫さんを初めて知ったのは、昨年八月十四日の朝日新聞の記事でした。ビキニ事件のことや焼津での反核平和運動のことなどを綴った「ビキニ・やいづ・フクシマ 地域社会からの反核平和運動」という本を上梓されたばかりの加藤さんが熊谷市在住と知り、出版社を通じて連絡を取ってもう一人の共同代表と共に話を伺いました。お会いする前に著書を一通り読んで

みたところ、熊谷と比べて焼津では平和運動に参加している人数や開催日も多く、また内容もバラエティーに富んでいて、熊谷では参考にならないかもしれないと思うほどでした。

幸い、加藤さんは当会の賛同人になり会議にも参加していただくようになりました。今までの豊富な経験をもとに、平和についての連続講座を開いていただくことになり、その第一回目として二月十二日に「平和学入門」を開催しました。集まったのはいつもの会議より少し多い十三人。平和学という言葉に惹かれた新しい顔ぶれも見えました。

加藤さんの話は、平和とは何かから始まり、平和についての二つの見方として、カントの永久平和論に代表され日本国憲法9条の理念に繋がっている理想主義と、軍備を強化して平和をつくるという現実主義があること、さらに平和学を作ったヨハン・ガルトウングの「積極的平和論」についても触れられました。また、歴史的には国

家を重視する国家の安全保障だったものが、近年になって個々人の生命と尊厳を重視する人間の安全保障という概念がでてきたという話に進みます。東大、筑波大でも講座を作っており、残念ながら人間の安全保障を研究する人たちが、安

倍さんを支えているのが現状とのことです。そして地域で平和を作るにはどうしたらよいかということ、無防備平和運動の簡単な紹介や、焼津ではライブやアート、吉本のお笑いなど市民が盛り上がるようなことをやって三千五百人を集めていたという話も聞きました。

質疑応答では、熊谷の平和運動の状況や、最近の大学生の話、改憲の話、音楽祭や市民活動支援センター、ニャオざねまつりなどを通して市民がつながる話など盛り沢山でした。

質疑応答の最初になかなか質問が出なかつたので、焼津では高校生や大学生も参加しているとのことで羨ましく思つたこともあり、「学生を巻き込むには」という市民活動支援センターでのミニ交流会に私が

参加した話をしました。少しびつくりしたのは学生を巻き込むことを諦めている人や必要性を認めない人など否定的な意見が多かつたことです。私としては難しいことは承知の上で、どうしても若い人たちに参加してもらうかを考えたいと思います。

平和学という名前は知っていたものの、具体的な内容はほとんど勉強したことがなかつたので、体系的に学ぶことが重要だと改めて認識しました。さまざまな暴力がある日常生活においても何らかの役に立つのではないかと思います。



金子兜太さんと
「熊谷空襲を忘れない市民の会」

米田主美



故 金子兜太さん

兜太さんに初めて手紙を書いたのは三年前になる。国会前デモで掲げたプラカード「アベ政治を許さない」は誰もが知っていたが、揮毫された方が金子兜太さんだとは知らない人が多かった。熊谷在住と聞き、ぜひ市民の会にも入会していただきたいと思ひ、ペンをとった。

しかし、お宅に伺ってお話する兜太さんは実に気さくでユーモアがあり、温かいお人柄だった。講演の依頼に仲間と一緒に伺った時も打ち合わせが済むと帰り際に「今日はきれいどころが三人で・・・」と見送りにいらっしやる。女性たちは思わず「くすつ」と笑ってしまったものだ。

「アベ政治を許さない」は作家の澤地久枝さんから依頼されて書いたが「安倍」に漢字を使うのはもったいないからカタカナで書いた。反響がびっくりするくらいあり、熊谷駅前でも市民がこれをプラカードやポスターにして宣伝してくれていた。いやいや、俺も男が上がったものだと思ひましたね。と、新聞記事に書かれていたのを読んで、市民の会としても兜太さんに背中をひと押ししてもらったような気分になった。息子さんのお連れ合いの知佳子さんが毎月三日にはプラカードを持ってスタンディングに参加してくださったこともあった。

詩を書いている私は、本や同人誌が出るとお送りしていた。高齢になるとなかなかペンを持つのも億劫になるのに、兜太さんは必ず札状をくださった。筆致もしつかりとしていて、忘れられない言葉がある。「素晴らしい詩精神をありがとう」と書いてくださった。顔を合わせれば、その場で面白いことをおっしゃる、偉ぶらない、相手がどんな方でも等身大で向き合う、スケールの大きさを持っていた。私にとつては「お父さん」と呼びたい温かいお人柄であった。

今年の年賀状に「美味しいお菓子を持ってお宅におじゃまします」と書いたが、お返事がなかった。入院されていたことも知らず、まだまだ兜太さんにお会いできるものと思っていた。

二月二十日、お亡くなりになられたことを翌日埼玉新聞の小出記者から教えてもらい、その時の気持ちを語った。

三月三日には「熊谷空襲を忘れない市民の会」のメンバーが熊谷駅前でスタンディングをした。兜太さん、平和への強い思い、私たちが引き継ぎます。どうか安らかに眠りください。

合掌



熊谷中央公園の句碑「利根川と荒川の間(あい雷(らい)遊ぶ)」に設けられた献花台

～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願ひします。なお、会計報告はこの紙面により行ひます。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号:00100-7-265321

加入者名:熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ:クマガヤクウシュウヲワスレナイシミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名(店番):0-9店(019)

預金種目:当座

口座番号:0265321

会計報告(2018/01/16~2018/03/18)

収入:3,000円

支出:0円

残高:93,059円

編集担当者を募集します。

編集委員 吉田庄一 米田主美

連絡先 吉田庄一(090-4957-9181)

メール imajn241@gmail.com

永田浩三さん講演会

「戦争を伝える・戦争をしない～メディアと記憶～」

●日 時:4月22日(日)14:00~16:30

●会 場:熊谷市荒川公民館 3F ホール

●参加費:500円

障がい者・介助者200円

高校生以下無料

●主 催:熊谷空襲を忘れない市民の会

●連絡先:070-5551-7734(東)

090-2491-1263(米田)

●後 援:熊谷市教育委員会

